

井上彩略歴

1999年東京大学大学院総合文化研究科修了（学術修士）。2006年同博士課程満期退学、2008年ハワイ大学大学院言語学科修了（言語学博士）。2001年より2005年までイーストウエストセンターディグリーフェロー。2008年より2010年ハワイ大学第二言語習得学部サトウピジンクレオール研究所にて研究員を経て、現在は愛知大学、名城大学、名古屋外語大学、四日市医療看護大学で非常勤講師。

井上彩研究内容

人の移動に基づく言語接触と言語変化にまつわる言語現象が研究テーマ。博士論文ではハワイ島、カウアイ島、オアフ島でのフィールドワークを基にハワイクレオール英語の変化と変異を研究。他には横浜外国人居留地でかつて話されていたピジン日本語、パプアニューギニアのトク・ピシンの研究など。